プロゼミⅠ

人数分コピーして持ってくること。前日（木曜日）の13時までに4号館のマネジメント学部研究室に行けば、コピーしてもらえます。

ディズニーランドの研究

山澤成康

『ディズニーランドという聖地』の要約例

1. フロリダ・東京・パリ　－　ディズニーランドの世界戦略
2. フロリダのディズニーワールド

南カリフォルニアのディズニーランドへの不満→周辺の土地利用に関する権限を持たない

フロリダへ第二の王国　広さ3300万坪　山手線の内側の1.5倍

1971年10月1日開園

「マジックキングダム」（ロスと同様のもの）→面積1.4倍、投資額3倍以上

「エプコットセンター」　未来都市　科学博覧会

「ディズニーＭＧＭスタジオ」　映画撮影所とハリウッド名所の再現

「タイフーン・ラグーン」（人工の大波）、　「リバー・カントリー」（アスレチック）

・遊び心からの逸脱　「大統領の殿堂」「リバティ・スクエア」　愛国主義

・電力、ガス、上下水道、消防、建築基準、道路建設を独自に運営（警察、司法は別）

（２）東京ディズニーランド

1983年4月15日開園

オリエンタルランド（京成電鉄、三井不動産が出資）が誘致

なぜヒットしたか→日本の文化的状況と1955年のアメリカの状況が似ていたため

　　　　　　　・若者の好みが市場を動かす　・中産階級が台頭　・価値観の多様化

文化的脅威ではなく、「すばらしい買い物」→精神性をともなわない巨大な娯楽消費空間

（３）パリのディズニーランド

1992年開園

フランス人の賛否両論

「シンデレラや白雪姫の原作はディズニー」⇔「フランス人の個人主義に合わない」

フランス政府は歓迎→優遇措置（企業誘致、雇用拡大が期待できるため）